

平成21年10月30日

各位

上場会社名 株式会社 岡村製作所  
 代表者 代表取締役社長 久松 一良  
 (コード番号 7994)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 佐藤 潔  
 (TEL 045-319-3445)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	500	800	400	3.63
今回発表予想(B)	79,200	230	420	230	2.09
増減額(B-A)	△800	△270	△380	△170	
増減率(%)	△1.0	△54.0	△47.5	△42.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	99,511	2,940	3,379	2,309	20.94

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	0	400	200	1.81
今回発表予想(B)	73,000	△420	△30	50	0.45
増減額(B-A)	△1,000	△420	△430	△150	
増減率(%)	△1.4	—	—	△75.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

## 修正の理由

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、昨年からの国際的な金融危機による景気低迷が続く中で、景気対策効果により一部に底打ちの兆候が見られたものの、企業業績は大幅に減少し、世界景気の下振れ懸念など先行き不透明感も高く、企業の設備投資意欲には回復の兆しが見えない極めて厳しい状況にあり、需要の減少により売上高は前回予想800億円に対して8億円減少し、792億円となる見込みであります。さらに、利益面につきましても、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

従いまして、連結・個別ともに平成21年7月31日発表の第2四半期累計期間の業績予想の修正を行うものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では連結・個別ともに平成21年7月31日発表の通期業績予想の変更は行いません。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、今後の不確定な要因により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

以上